

事業目的

冬季スポーツ拠点化事業により培ったノウハウを活用・応用し、競技者のみならず一般客のスポーツ体験をターゲットとしたスポーツツーリズム開発や、名寄産農産物によるスポーツフード開発等による多産業への波及効果。市民健康・皆スポーツ事業を活用した中心市街地の賑わい創出、スポーツ愛好者をターゲットとした移住促進等、スポーツを通じ名寄市の課題に対応・解決を目指した新たな事業を展開していく。

1. 関連商品開発事業

合宿・大会誘致で培ったノウハウを活用し、競技者のみならず冬季のみならず年間を通じ一般客をターゲットとした新たな商品を開発し、地域経済活性化を目指します。

①スポーツツーリズム商品開発事業**ア) サイクルツーリズム商品開発**

春～秋のスポーツツーリズム商品として開発、商品販売を展開していく。

※R1年度事業

サイクリストを招聘し、商品化に向けた課題の洗い出し、意見交換を実施。その中で、旭川から名寄までの自転車や荷物の運送の課題、市内宿泊時の自転車の保管、プロモーション不足（＝情報が少なすぎる）の課題が出され、課題を解決した商品を展開するため、運送会社との協議を実施。



開発商品のイメージ



サイクリストの試走



意見交換の様子

イ) スキー場等周辺商品開発事業

日本一の雪質を誇るピヤシリスキー場周辺の一体的なスポーツツーリズム商品開発、販売を展開していく。

※R1年度事業

○近年のインバウンドスキーヤーによるオフピステ（未圧雪）コースの滑走が増加している中、ピヤシリスキー場での可能性を検討するため、ニセコにより知見者を招聘し、勉強家（ニセコルール）、コース調査を実施。併せて、今後のプロモーション素材となる画像（写真）制作。

○交流人口が拡大している台湾だが、スキー・スノーボードコンテンツのみではツーリズムとしての構築は困難なことから（一朝一夕で滑れるものではないため）、スノーアクティビティをパッケージすることにより商品として構築を目指すため、台湾より旅行エージェント・マスコミを招聘し、商品化への検証を行うとともに、合宿を行っていた台湾カーリング協会との意見交換を実施し、次年度以降の基礎データを構築。



勉強会の様子



オフピステ滑走



スノーピクニック



意見交換の様子

②スポーツ・ヘルスフードの開発

スポーツをコンテンツに様々な産業へ波及させるため、名寄産農産物を活用したスポーツ・ヘルスフードを開発し、スポーツを通じ基幹産業の農業の産業振興も目指していく。

※R1年度事業

名寄産もち米に機能性食品を加えたスポーツフード「モッチート」を開発、今後、スポーツ大会・合宿時での販路拡大を目指すとともに、バリエーションを増加させ、「スポーツのまち名寄×名寄農産物」のブランディングを目指していく。

ジュニアオリンピックからの販売を目指して開発を進めてきたが、各種スポーツ大会の中止により現在販売を見送りで中



名寄産もち米を使用したスポーツフード「モッチート」

2. スポーツ移住事業

名寄市の強みを生かした冬季スポーツスポーツ愛好者（アスリート・インストラクター・コーチ・アスリートセカンドキャリア・スポーツ愛好者）の移住促進を目指す。

※R1年度事業

市内雇用体系の調査、既移住者への調査、スポーツ派遣企業等への調査データによりモデルケースを作成、プロモーション素材を作成。今後は、そのモデルケースを活用しターゲットを絞り込んだ移住施策を名寄市移住促進協議会との連携して実施します。



スポーツ移住プロモーションチラシ

3. スポーツ・健康街なか活性化事業

中心市街地において、「健康・スポーツ・交流」をテーマとした各種コンテンツを提供し、人々が集まり、交流と賑わいを創出する空間の構築を目指す。

※R1年度事業

コンテンツの一つとして開発を目指す“eスポーツ”を活用し高齢者を対象とした「ゲーム健康講座」を実施。アンケート結果を活用しながら、健康・スポーツを求めるニーズに対応したコンテンツを開発し、市民の皆さんの健康と中心市街地の活性化目指していく。



ゲーム健康講の様子



事業の全体イメージ

運動・健康コンシェルジュの設置

施設運営管理、市民目線での健康づくり・スポーツ振興等の情報提供、企業のビジネス機会創出、コンテンツ管理等をNスポーツミッションで行う。



開発を目指すコンテンツイメージ

各種実績・KPI

①合宿者数と経済効果の推移、新規誘致大会（ジュニアオリンピック）宿泊数と経済効果の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
合宿者数	3,185人	3,485人	6,020人	8,081人	8,329人	6,820人
経済・波及効果	42,987千円	48,090千円	64,264千円	105,009千円	114,528千円	86,624千円
ジュニオリ	—	—	443人	1,945	1,685人	中止
経済・波及効果	—	—	13,888千円	26,322千円	23,322千円	—

②新規全国・全道クラス スポーツ大会

H27	<ul style="list-style-type: none"> ○全日本スキー選手権 ノルディックコンバインド ○全国中学スキー大会 	
H28	<ul style="list-style-type: none"> ○JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会 ○北海道トランポリン競技選手権大会 ○北海道少年少女銃剣道大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本シニアカーリング選手権 ○日本スポーツマスター2016軟式野球大会 ○全日本バレーボール小学生北北海道大会
H29	<ul style="list-style-type: none"> ○全農日本カーリング選手権 ○全日本スキー選手権大会 ノルディックコンバインド ○クロスカントリー名寄大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国高等学校スキー大会 ジャンプ/ノルディックコンバインド ○JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会 ○高円宮杯全日本学童軟式野球大会北北海道大会
H30	<ul style="list-style-type: none"> ○JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会 ○北海道クラブカップバスケットボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○全農日本カーリング選手権北海道予選会 ○北海道カーリング選手権大会（北海道車いすカーリング大会）
R1	<ul style="list-style-type: none"> ○全道中学校ノルディックスキー大会 ○第38回全日本スノーボード選手権北海道地区大会 	

③名寄市におけるインバウンド推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
宿泊者数（人）	59	387	349	712	834	1,195
宿泊客延数（人泊）	163	545	417	1,094	1,985	2,160